

一 行政機構整備實施ノ爲ニスル大藏

省官制中改正ノ件

一 行政機構整備實施ノ爲ニスル印刷

局官制制定ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラ

レムコトヲ請フ

昭和十八年十月三十一日

内閣總理大臣東條英機

勅令第 號

大藏省官制中左ノ通改正ス

第一條ノ二 大臣官房ニ於テハ通則ニ掲グルモノノ外一般會計
又ハ特別會計ノ支辨ニ屬スル建造物ノ營繕ニ關スル事務ヲ掌
ル但シ建造物ノ性質其ノ他ノ事由ニ因リ所管大臣大藏大臣ト
協議シテ定メタルモノヲ除ク

第二條中「十局」ヲ「七局」ニ、「銀行局」ヲ「銀行保險局」
ニ改メ「營繕管財局」、「資金局」及「監理局」ヲ削ル

第三條中第四號ヲ第六號トシ以下順次ニ號宛繰下ゲ第三號ノ次
ニ左ノ二號ヲ加フ

四 國有財産ノ總轄及整理ニ關スル事項

大藏省
官制
勅令
第 號

五 雜種財産ノ管理處分ニ關スル事項但シ政府出資特別會計ニ關スルモノヲ除ク

第六條 削除

第八條 削除

第九條第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ資金調整及會社經理統制ニ付テハ軍需省ノ所管ニ關スルモノヲ除ク

同條ニ左ノ四號ヲ加フ

十 預全部預金ノ管理處ニ預全部資金ノ運用及經理ニ關スル事項

十一 有價證券引受業、有價證券業及有價證券割賦販賣ニ關

スル事項

十二 商品券ニ關スル事項

十三 政府出資特別會計ニ關スル事項

第十一條中「銀行局」ヲ「銀行保險局」ニ改ム

同條第一號乃至第五號ヲ左ノ如ク改ム

一 銀行ニ關スル事項

二 信託ニ關スル事項

三 保險ニ關スル事項

四 無盡ニ關スル事項

五 市街地信用組合ニ關スル事項

同條第七號中「庶民金庫」ヲ「庶民金庫及恩給金庫」ニ、同條

第八號中「産業組合中央金庫」ヲ「農林中央金庫、地方農業會」ニ、同條第十二號中「銀行」ヲ「金融機關」ニ、同條第十三號中「銀行債券」ヲ「金融機關ノ發行スル債券」ニ、同條第十四號中「銀行」ヲ「金融機關」ニ改ム

第十二條 削除

第十四條中「監理局顧問」ヲ「保險顧問」ニ、「監理局」ヲ「銀行保險局」ニ改ム

第十六條第二項中「營繕管財局」ヲ「大臣官房」ニ改ム

第二十條第一項中「技師專任二十六人」ヲ「技師專任二十九人」ニ改ム

ニ改ム

第二十一條第一項中「專任三百七十五人」ヲ「專任三百六十人」ニ改ム

ニ改ム

第二十三條第一項中「技手專任百二人」ヲ「技手專任百六人」ニ改ム

ニ改ム

第二十四條中「營繕管財局專務官」ヲ「營繕專務官」ニ改ム

第二十五條 削除

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

醸造試験所官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ醸造試験所職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ醸造試験所專務官ハ大藏專務官ニ、醸造試験所技師ハ大藏技師ニ、醸造試験所書記ハ大藏屬ニ、醸造試験所技

手ハ大藏技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス
 本令施行ノ際現ニ醸造試験所職員ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令
 ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ大藏省職員ニ同
 官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

勅令第 號

印刷局官制

- 第一條 印刷局ハ大藏大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 請紙券類、印紙、郵便切手及諸印刷物ノ製造ニ關スル事項
 - 二 官報、法令全書其ノ他ノ刊行物ノ編輯及發賣ニ關スル事項
 - 三 官報其ノ他ノ印刷ニ關スル事項
 - 四 抄紙ニ關スル事項
- 第二條 印刷局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長	專任	一人
書記官	專任	三人
理事官	專任	六人

技師

專任二十五人

奏任 内一人ヲ勅任ト
爲スコトヲ得

厨

專任百二十九人

判任

抄手

專任百八十一人

判任

前項ノ職員ノ外印刷局ニ印刷醫及印刷藥劑師ヲ置ク印刷醫ハ

任官又ハ無任官ノ待遇トシ印刷藥劑師ハ無任官ノ待遇トス

前項ノ規定ニ依ルル任官待遇ノ印刷醫ノ數ハ十六人以内トシ判

任官待遇ノ印刷醫ノ數ハ十四人以内、印刷藥劑師ノ數ハ八人以

内トス

第三條 局長ハ大藏大臣ノ掛指監督ヲ承ケ局長事務ヲ掌理シ所屬職員

ヲ指指監督ス但シ官費及法令全書ノ編輯及印刷並ニ内閣所管ノ

機密文書ノ印刷ニ付テハ内閣總務大臣ノ掛指監督ヲ承ク

第四條 書記官及庶務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第五條 抄師ハ上官ノ命ヲ承ケ抄寫ヲ掌ル

第六條 局ハ上官ノ掛指ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 抄手ハ上官ノ掛指ヲ承ケ抄寫ニ従事ス

第八條 印刷醫ハ上司ノ掛指ヲ承ケ職務ニ従事ス

第九條 印刷藥劑師ハ上司ノ掛指ヲ承ケ職務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内閣印刷局長及内閣印刷局長兼務官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際其ニ内閣印刷局長又ハ内閣印刷局長兼務官ノ職ニ在ル

者別ニ當令ヲ稱セラレザルトキハ各該職又ハ印刷藥劑師ニ付待

遇俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

御覽

六四

行政機構整備實施ノ爲ニスル司法
省官制中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付
セラレムコトヲ請フ

昭和十八年十月十五日

内閣總理大臣東條英機